

『特色ある学校づくり』

ー地域との連携、豊かな心の醸成と健康づくり、指導力向上を通してー

あま市立正則小学校

1 目的

本校は、明治からの学校で、近くには福島正則公生誕の地の碑もあり、日頃から地域と深いつながりをもち、地域の方に温かく見守られて学校教育を進めています。地域力は、本校になくてはならないものになっています。そこで、地域との連携を図り、地域力を学校力とすることで、児童を育てていきたいと考えました。また、今の世の中を生き抜く力、生きる力を児童に身に付けさせ、夢（目標）に向かって努力することを目指すため、豊かな心の醸成と指導力向上を図っていききたいと思います。

2 内容

(1) 地域との連携

今年度も、昨年度のキャリア教育年間指導計画の一部を見直し、実施しています。高学年の児童は、地域で働く人の講話や職場体験の内容を保護者に伝えることで、自分の将来の夢について考えるよい機会になりました。



＜楽しいマジック＞

6月に行った「親子ふれあい学級」では、地域の講師37名を招聘し14講座を設けました。講師の方の事前準備は入念で、講座にかける意気込みを感じました。また、どの講座にも、親子が真剣にもの作りに取り組む姿は、ほほえましく映りました。

親子ふれあい学級の講座名	
楽しいマジック	間伐材を使った木工作
「ほっこりイモムシ」とブルメリアストラップ	記録に挑戦！リレーションゲーム
フラワー・アレンジメント	紙ひこうき
絵手紙	竹とんぼを作ろう
織姫と彦星	ブックエンドに子猫ちゃん
ペンケースを作ろう	ぞうさんのメモホルダー
My「みそ」と給食の麻婆豆腐を作ろう	ハサミで切って折り曲げる立体工作

6月には、親子が一緒に通学路を点検したものを基にして校区の「安全マップ」を作成し、地域や家庭へ配布しました。この活動を通し、地域の安全について考える活動につなげることができました。

「農業体験」では、1・6年生、2・5年生、3・4年生がペアとなり、地域の農業体験クラブ員さんのご指導を受け、サツマイモの苗植えや収穫をしました。また、2年生は、収穫したサツマイモを調理し、農業体験クラブ員さんを見守り隊の方々を招いて「感謝の会」を行いました。

(2) 豊かな心の醸成と健康づくり

金管部は、運動会や地域に出かけ演奏をしています。地域の温かい声援が、金管部の励みとなります。また、歌声の響く学校は、児童の心を豊かにしています。今年は、10・11月に「学習発表会」、2・3月に「卒業式」の合唱を中心に講師を招聘して練習に励み、レベルアップを図っています。

また、授業に「ソーシャルスキルトレーニング(SST)」を取り入れるとともに、講師を招いてSSTの校内現職教育を行ったり、講師の先生に授業に入ってもらって研究授業を行ったりしました。

(3) 指導力向上

校内で「学び合いを通して問題解決していく児童の育成ー思考の可視化を通して学びを深める授業の工夫ー」の研究を推進しています。2年目の今年度は、算数の学習過程で自ら考える場の中で自分の考えを可視化したり、学び合う場の中で考え方の練り合いを行ったりしながら問題解決をする授業に取り組んでいます。



＜付箋紙を用いたワークショップ型の研修＞

校内現職教育では、大学の先生を5回招聘しました。研究授業の後、付箋紙を用いたワークショップ型の研修を行うことで、活発に意見交換ができ、教員の主体的な交流や若手教師の研修の機会となっています。

3 評価

- (1) 児童はキャリア教育を通して地域に働く人の工夫や苦労を学んだり、将来の生き方や夢について考えたりしました。また、日頃お世話になっている農業体験クラブ員や見守り隊の方々に対し「感謝の会」をしたり、金管部が学区の菊泉院を訪問したりすることで、豊かな心を育てることができました。

- (2) 今年も、講師から合唱指導を受けることで、歌声の響く学校となっています。年間計画を立てて学級でのSSTを取り入れた授業を進める中で、「チクッと言葉」を言わないようにする意識が児童の中で芽生え、自分から言わないように心がけたり、友達に言わないように声をかけたりする姿が見られるようになってきています。



＜講師を招聘してのSSTの授業＞

- (3) 研究授業や校内研修により全職員の指導力が向上してきています。自力解決の際に、ワークシートやデジタル教材、具体物を活用することで、下位児童も抵抗なく学習に取り組めるようになってきました。また、思考の可視化を行うことで、主体的・共働的に問題解決できるようになってきています。

4 課題

- (1) 各教科等とキャリア教育との関連をさせた系統的な指導をしたり、校区で生誕した戦国武将である福島正則公について学んだりしていきます。
- (2) 毎朝、学校に歌声が響いています。今後も歌声を発表する機会を増やし、一人一人が自信をもって合唱に参加できるようにしていきます。
- (3) コミュニケーション能力や学力を一層向上させるために、各教科で自分の考えと相手の考えを比べて意見を述べる場面を多くしたり、算数の時間配分を工夫し、適用問題を多く解かせたりしていきたいと考えています。